

ポール用ハンガー “4 way hanger” + メスダボアダプター

オートポールに通常のハンガーを使用すると、ポール自体が止め具の圧力で歪んでしまう恐れがあります。

ですので、ポールを傷付けずにしっかりと固定する為に、弊社では専用品としてこちらのハンガーをご用意させて頂きました。通常のハンガーではなく、必ずこちらをお使い下さい。

(オートポール単品ではお貸し出しする事が出来ませんし、4 way hanger単品でもお出しする事が出来ません。)



これがメスダボのアダプターが付いた、灯体をセット出来る状態の画像です。

4 wayと云う名の通り、アダプターを取り付けられる溝が4箇所付いています。

左の写真では、通常のハンガーの様に締め付け部分の下側にメスダボが取り付けられています。

『どの様に設置された管に、どの様に取り付けるのか』で、アダプターの取り付け位置も変わってくるかと思えます。



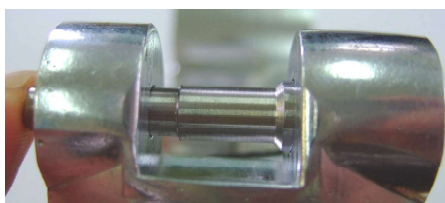
左の写真がパイプへの取り付け・取り外しの為にクランプを開いた状態です。

構造が見え易い様に多少角度を付けて撮影しましたので、画像上部左寄りに棒状のストッパーが出っ張っているのがお分かりになるかと思われれます。

このストッパーを押し込むとロックが解除されてクランプが開きます。



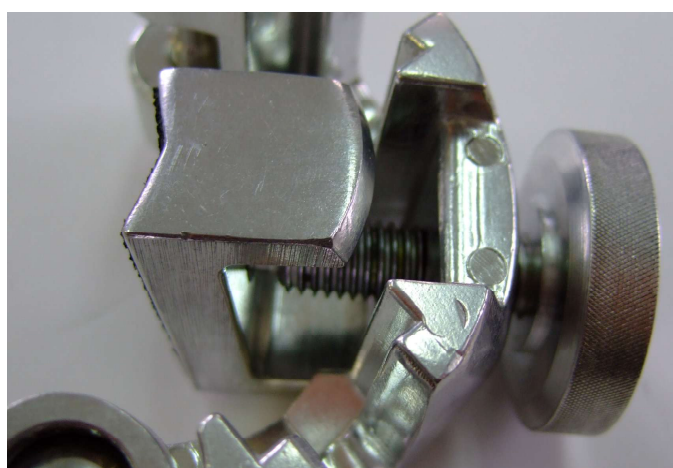
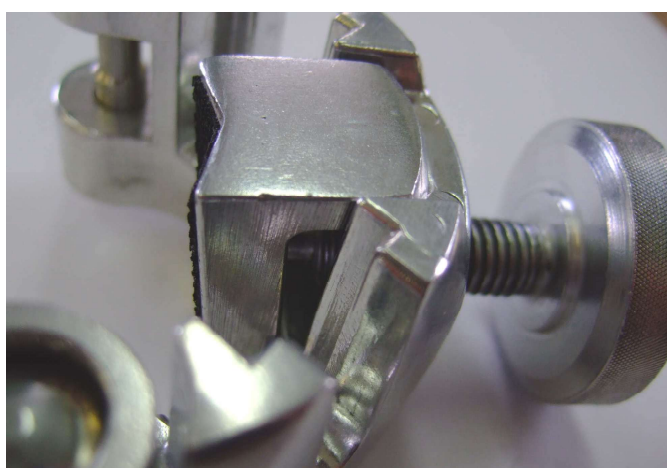
ストッパーを押ししていない状態



→ ストッパーを途中まで押し込んだ状態



→ ストッパーを最後まで押し込んだ状態



パイプにクランプを取り付けたら、大きな丸いハンドルの付いた締め付けネジを締めてパイプに固定します。締め込むのは問題無いのですが、緩める時には1点だけご注意ください。あまりネジを緩めすぎてしまうと、滑り止めウレタンシートの付いた止め具がネジから外れてしまう可能性があります。(緩め過ぎると取り付けネジが緩む場合がある為です)

止め具が取れてしまいません様に、クランプを外す際には緩め過ぎにくれぐれもご注意ください。

灯具にメスダボを取り付けるには、メスダボのハンドルを回してネジを窓で確認しながら開いて下さい。開ききったらダボに装着し、ネジを締めて下さい。画像はクランプに取り付けた状態になっていますが、アダプターをクランプに取り付ける前に灯具にセットして頂いて結構です。



クランプに取り付けられたメスダボのアダプターは、飛び出ている部分のネジが両側えぐられています。ここがクランプの溝に差し込む部分です。

クランプに取り付けたら固定ナットを締めて下さい。



※このアダプターは負荷が掛かった状態で初めて固定される構造になっておりますので、何も灯具を取り付けない状態で触れると簡単にアダプターがクランプから外れてしまいます。アルミ合金同士で摩擦が少ない為で、不良品や破損ではありません。荷重が掛かりました時点でしっかりとロックが掛かります。



←オートポール

KEV STATION INC.

(株)ケイエムステーション

〒352-0011

新座市野火止2-11-25

TEL:048-424-5620

FAX:048-424-5625